



# 七つ星

6月号

令和8年5月29日(金)  
〒337-0012 さいたま市  
見沼区東宮下1-1-1  
電話 048-685-0603

輝く笑顔 誇れる学校 ～さいたま市立七里中学校 学校だより～

## 「お陰様で…」の心 ～和を以て貴しと為す～

校長 河合 裕

梅雨の季節となりました。この時期の雨は作物に多くの恵みをもたらします。作物は成長に不可欠な大量の水分を一気に補給するそうです。生徒の皆さんも雨の日を有効活用し更なる成長ができると良いですね。

さて、今月は大きな行事を2つ実施しました。まず開校50周年記念事業の幕開けとなった「航空写真・バルーンリリース」です。澄み渡る青空の下、校庭に生徒、教職員、保護者、地域の方々に本校の校章をかたどり、ドローンによって上空から写真を撮りました。今から完成写真が届くのが待ち遠しいですね。今後、教室棟と特別教室棟を結ぶ渡り廊下(2階)に



地域の方から頂いた花開校50周年記念特設展示コーナーを設ける予定ですので、完成写真が届きしだい展示したいと思います。撮影後はバルーンリリースを行いました。生徒会長兼50周年実行委員長の堤田 璃香さんの「お誕生日おめでとう」の掛け声からカウントダウンが始まり、一斉に約400個の風船が青空高く舞い上がりました。校庭は七里中の誕生日を祝う歓喜の声に包まれました。続いて「50周年記念体育祭」です。この日も晴天に恵まれ、記念体育祭に相応しい熱戦が繰り広げられ、多くの「輝く笑顔」が校庭一杯に溢れる一日となりました。

この2つの行事を通して私が強く感じたことは「お陰様で…」という心と「和」の大切さです。「人は一人では生きていけない」と分かっているながらも、日々の日常生活では忘れられがちなことではないでしょうか。航空写真・バルーンリリースには、先に書きましたが地域の方々も参加してくださり、その中には本校の卒業生(私の知る限りでは1期生から12期生あたりの方々)もおいでくださいました。体育祭では、数日前に気温が高くなる予報が出たため、熱中症予防対策としてPTAから500mlの水を生徒・教職員に一本ずつご準備いただきました。生徒席のテントも県立大宮東高校と七里小学校がお貸しくございました。このように、今回の行事を行うにあたり、多くの方々からご理解とご協力、ご支援をいただいております。生徒の皆さん一人ひとりにも「お陰様で…」の感謝の心が芽生えていることを願います。

また、50周年記念事業の全ては準備委員会の方々が、より良い事業の実施を目指して幾度も話し合いを重ねて準備を進めてくださっています。生徒の皆さんも体育祭でクラスを勝利に導くために話し合いを重ねていましたね。まさしく聖徳太子の十七条の憲法「和を以て貴しと為す」の意味のごとくです。成長に不可欠な「お陰様で…」と「和」。これからも大切にしていきたいですね。



「おめでとう」と歓喜の声に沸いたバルーンリリース